



み
あ
さ
づ
く
り

伝説から学ぶ

美麻小中学校の3年生は、伝説を学
びに11月1日に大塩を探検しました。

富士浅間神社では、もともとはた
くさんの神様がいて、その理
由を学習しました。…と、そのお話
よりも、子ども達の心を掴んだのは
回る舞台です。重くてなかなか回ら
なかったのですが、一度動き始めると
人数を減らしてもぐるぐる回せる
ようになりました。神主の傘木さん
が「古いものだから…」と心配する
くらい元気にぐるぐる回していました。

静の桜では、大塩地区にお住いの
藤井さんから伝説をお聞きするこ
とになっていましたが、東屋に書いて
あるお話をクラスの子が読み始めて
から、お話しをききました。静御前

のこと、源義経のこと、読めない字
などを藤井さんに尋ねながら伝説を
一通り読んで、倒れてしまった桜や、
静御前のお墓を見学しました。静の
桜は、大塩地区で育った藤井さんに
とって小さい時から見守っている桜
の木だそうです。この桜をどうして
いくのがいいのでしょうか。

(文責 矢口秀幸)



QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ
美麻Wiki



facebook



地域の話題

美麻地区 移住・定住アンバサダーを募集！

将来にわたり美麻地区を維持していくには、800人の人口が必要と考えています。そのためには定住する人を増やす必要があります。移住される方々に前もって地域の生活や活動を知っていただき、一緒に地域の活動に参加してもらえることは、暮らしやすい地域を作るための最初の一歩ではないでしょうか。



そこで、
美麻地区の魅力を発信したり、
移住・定住を検討している方々の
相談相手になってくれる人
(アンバサダー)を募集します！

申込み締め切り 令和5年1月5日 (木)

STEP 1 申込み

- ◆募集人数 5名程度 (※順次増加)
- ◆任期 2年間
- ◆活動内容
主な活動はボランティアをお願いします。
 - ① SNSでの情報発信
 - ② 広報誌、ホームページでの体験紹介
 - ③ 移住相談会等での相談受付、フォローアップ
(※活動③には、交通費等必要な経費の支弁あり。)
- ◆応募要件 (以下の要件をすべて満たす方)
 - ① 18歳以上
 - ② 美麻地区に5年以上居住している方
 - ③ 自治会又は地域づくり会議に加入している方
 - ④ 自身の居住体験等を相談者に紹介できる方
 - ⑤ SNS等で美麻の魅力を定期発信できる方
 - ⑥ 研修プログラムに参加できる方。
- ◆応募方法
同封の用紙に必要事項を記入の上、事務局 (美麻支所総務係) に持参するか、
電子メール (miasadukuri@gmail.com) で送付してください。
- ◆選考
今回は、活動モデルを作るために「STEP2」の研修に参加可能な方を優先します。
※面接等によりお話を伺う場合があります。

STEP 2 研修プログラム

- 任期中、年1回以上、研修受講が必要です。
- ◆研修内容 座学1回 + 実習1回以上
- ※ 研修日程は別途通知します。
- ※ 実習に係る費用負担はありません。

STEP 3 実習 (令和5年1月実施分)

JOIN 移住・交流&地域おこしフェア2023

- ◆日程 令和5年13日(金)・14日(土)
- ◆日時 1月14日(土) 午前10時から午後5時
(実習日はイベントの1日目です。)
- ◆場所 東京ビッグサイト
- ◆人数 2名(申込み順)
- ◆内容 大町市のブース出展の手伝い
- ◆指導者 定住促進アドバイザー
前川浩一さん、梅田 敏男さん
- ◆費用等 会の規定の範囲で交通費、宿泊費を支給します。
- ◆スケジュール
1/13 移動日、ホテル泊(事務局手配)
1/14 午前9時30分会場集合
午後5時30分解散～各自帰宅
- ※ 詳細は、参加者に別途通知します。



JOIN 移住・交流&地域おこしフェア2023の詳細は、以下のリンクからご確認ください。

https://www.iju-join.jp/feature_cont/file/108/



コミュニティ・スクールのお話

梨の木祭開催 テーマ「Good Time ～一瞬の輝き 一生の思い出～」

二年ぶりに参観の規制もなく、9月30日、10月1日に開催をすることができ例年より大勢の保護者の方に来ていただくことができました。音楽会では、各学年の練習の成果を精一杯発表し、最後に大きな輪になってダンスしながら全校合唱を楽しみました。梨の木広場でも元気に大縄跳びやシッティングバレーで盛り上がり、有志ステージ発表では、ダンスや手品、歌、柔道の練習風景、太鼓など普段は見られない友達の一面をみました。教室には、学習がたくさん展示され、日ごろの頑張りをお家の方にも、地域の方にも見ていただくことができました。



これまでのご支援、当日の参観等ありがとうございました。（文責8年担任 小山保男）

大きなこえでうたをうたうと きんちょうがとんでいきました（1学年）

（10月1日 音楽発表会生徒の感想）



- ・はーもにかが しょうずにふけて たのしかったです。いろいろなうたやがっきのえんそうがきけておもしろかったです。
- ・おんがくかいで さんほのげきをして たのしかったです。はっぴょうは きんちょうしたけれど、大きなこえでうたをうたうと、きんちょうがとんでいきました。らいねんのなしの木さいもが

んばりたいです。

- ・おんがくはっぴょうかいがありました。けんばんはーもにかとうたをやりました。

うたはきんちょうしました。つぎはもっとしょうずにしたいです。

- ・たくさんれんしゅうをした ひあにかやうたをきいてもらいました。ぜんいんではっぴょうできてよかったです。らいねんは、じしとばばにもみてほしいです。

- ・1ねんのさんほでだいほうけん。さんほとみつきーまうすまーちをひくのが たのしかったです。みんなしょうずにできてうれしかったです。

（文責 野本和幸）

のりもの遠足に出かけました（2学年）

11月18日(金)は好天にも恵まれて、気持ちの良い1日となりました。

まずはデリシアで買い物です。ほしいおやつが見つからずに困っている1年生と一緒に探してあげたり「一緒にレジに行こう」と声をかけたり、2年生がリーダーとして活躍している姿が見られました。

信濃大町駅では、一人一人が切符を買いました。駅員さんが心配して近くに立って見守ってくださいましたが、ほとんど助けを借りることなく購入することができました。練習の成果がバッチリ出ていました。

ゆーぶる木崎のプールでは、あまりに夢中になりすぎて、はしゃいでしまう子もいましたが、滑り台を滑ったり、流水の滝に打たれたり、学校より

も深いプールを潜ったり、温かなジャグジーを体験したりと、とても楽しい時間となりました。更衣室の使い方もとても上手にできていました。子ども達もとても満足した遠足となりました。



（文責2学年担任 松澤 享）

コミュニティ・スクールのお話

校外学習に行ってきました♪ なしの木

『なしの木クッキー屋』『なしの木なんでも屋』の売上金を使って、10月12日(水)に国営アルプスあづみの公園に校外学習に行ってきました。

今回は、決まった金額のお金を一人ずつ持ち、行きのおれあいバスや電車の切符代、おやつ代、昼食代を自分で計算して支払いをすることにチャレンジしました。最後までお金が足りなくならないようによく考えながら買い物をし、全員が予算内で好きなおやつや昼食を買うことができました。あづみの公園では、秋の自然を楽しみながらみんなで元気に遊び、笑顔いっぱい、学びがいっぱいの楽しい校外学習となりました。なしの木の商品を

ご購入いただいた皆様、ありがとうございました。(なしの木担任 塚田佳寿美)



木を学ぶ、木で遊ぶ

4学年

お山の学校の季節です。今年は、10月19日(水)に学校に生えているアカマツ(37さい)を切り、積み木にして遊びました。また、子どもたちは、「一人一本、木を調べる宿題」にも挑戦し、木を学んでいました。切った木が積み木になるまでの製材工程や林業のお仕事についても触れることができ、充実した時間になりました。積み木遊びの真剣な顔、本当にいい時間でした。木のプロフェッショナルから木を学べる、美麻の自然と人のすばらしさに触れられる貴重な学びでした。(文責：鳥屋 心吾)

土鍋を野焼き、ドキドキ(5学年)

粘土を水と混ぜる
(7月6日)



土鍋成形
(9月9日)



土鍋の底を削る
(9月16日)



もち米を調理するための土鍋や他にも製作してきた豆皿や箸置きを野焼きしました。みんなの「一から」という思いを大切に、ここまでよく頑張ってきたと思います。もち米料理をおいしくいただく日が近づいてきましたね。わくわくです♪粘土を山に採りに行くところから今日まで後藤さんに大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

(文責 担任 松尾真理子)



Mさん作かまど



野焼き前日の天日干し
(10月20日)



かやぶき屋根修繕ワークショップを開催 (12/8)



昨年から、地域の伝統文化継承と、ワーキングホリデーの体験プログラムづくりを目的に水車小屋の屋根の修繕作業を行なっています。

当日は、小雪がちらつく中「縄文屋根」の渡辺さんを講師に迎え、新行自治会の皆さんに協力いただき、約30名でカヤ刈り作業を行いました。美麻小中学校3・4年生は地域の方に作業のコツ教えてもらいながら一生懸命取り組んでいました。刈り取ったカヤは足ふみ式の脱穀機を使って屋根材として整え、乾燥させて来年の修繕作業で使用するために、保管しました。

●参加者の感想

「鎌を使うのも初めてで難しかった、萱が硬くて刈るのが大変」「カヤが硬くて鎌を何回も動かさないと切れなかった」「足ふみは楽しかった」

美麻地域づくり会議・(一社)地域づくり美麻



小さな拠点づくり講演会を開催 (11/1)



地区内外から40人以上の参加をいただき、講師に高知県梶原町の西村副町長をお招きし、平成25年から取り組んでいる「集落活動センター」の立ち上げから実践活動についてお話していただきました。

梶原町では、明治時代に合併した旧村（美麻

でいえば自治会単位）で設立し、センターごとに地域課題の解決を図るため、住民自らが出資し必要な法人格を取得して運営しています。

町（行政）は、地域活動センターを行政のパートナーとして設立や運営に必要な支援をしています。活動はセンター毎に違いますが、それぞれの分野で成功事例として全国に紹介されています。小さな拠点の設置を住民主体で進めるためには、

①持続可能な地域の形成に向けた必要な政策である意思決定をすること。

②モデル地区を設置するなどして、活動の成果を見える化していくこと。

が大切とお話をいただきました。

センターの活動については、ホームページでご覧いただけます。

<https://www.eitoko.jp/about/>





先進地視察研修報告

今年は、花豆、ジビエなど地域資源を活用した特産品の振興をテーマに視察研修を行ないました。

有害鳥獣駆除された鹿の活用（10/8）

- ・ グルーバーレザー（千曲市）
- ・ ジビエ加工施設（長野市中条）



ジビエ肉の活用の際に、ほとんどが廃棄処分になっている鹿の皮。その皮を活かして商品化している千曲市のグルーバーレザーを訪ねた。

代表の徳永さんが提唱する「信州鹿革エシカルプロジェクト」は、長野市周辺で駆除された鹿を解体後、皮を飯田のなめし工場加工、千曲市の工房で商品製作販売するという県内で完結する地産地消の流れを指す。かかわる人全てが利益を得て、産業として成り立つことが重要というお話に深く納得した。鹿革は柔らかく保温性通気性があり、しなやかな肌触りがする。また、野生なので個体差があり、品質は一定ではない。自然の恵みとしてその違いやばらつきを活かしていけたらと感じた。

中条のジビエ加工センターでは、近代的な解体施設を見学。どちらも「駆除」という形でいただく命をできる限り無駄なく、そしてかかわる人たちに喜ばれる仕組み作りを模索していた。貴重な機会をありがとうございました。

（広報部会 縫部朋美）

花豆の活用、道の駅活性化（11/9）

- ・ 内山藤三郎商店（新潟県新潟市）
- ・ 庭園の郷保内（新潟県三条市）



皆さんは重点道の駅をご存知ですか？私はこの視察で知りました。R元年重点道の駅に選定された【庭園の郷保内】にて詳細を知る事ができました。それは地域活性化の拠点となる優れた企画があり今後の重点支援で効果的な取り組みが期待できるもの。江戸時代から造園の歴史を持つ新潟県三条市保内地区。六百種の庭木が周辺の植木職人によって見応えある庭園になっている道の駅。四季で楽しめ、購入ができ、庭木の相談もできるわけですから、地元の方も足を運び活気があります。ガラス張りの店内は明る

くお洒落で買い物意欲も上がります。各土地の産業、歴史を守り更に新しく活性化し続ける道の駅。参加した皆さんも構想が膨らみます。

美麻地域づくり会議で販売している花豆甘納豆の製造者内山藤三郎商店で工事見学もし詳しくノウハウまで教えてくださいました。花豆甘納豆の袋に【製造者・美麻地域づくり会議】と記される日も近いかもしれません。

（二重 佐々木たか美）





人と獣の棲み分けを考える（緩衝帯整備事業 11/27）

美麻地区最大の地域課題である有害鳥獣被害を低減させる新たな取り組みとして、緩衝帯整備を行なうこととしました。今回は、約20人が参加して、大塩地区中村団地入口の荒廃地（約1ha）の草刈りや伐採を行いました。

作業個所周辺の道路は通学路にもなっていますが、以前、出没した熊の隠れ場所になったこともあったようです。作業にあたっては、



林業の仕事をしてい
る石田貴実さん（中村団地）から草刈り機等の安全な使用について講習を行いました。また、機械作業が初めて使う方には、今年整備した電動草刈り機の貸出も行いました。



【参加者の感想】

- ・この道は子供の通学路になっているので安全面を考えても整備をしていただき助かります。地域でも安全対策を考えていきたいと思いました。（中村団地 池谷友希さん）
- ・facebookをみて興味があり夫婦で初めて参加をしました。地域の環境整備が今後も続けばと思います、少しは地域貢献ができたのかと感じています。（美麻北村出身 竹内均さんご夫婦）

追い払いは地域ぐるみで （動物駆逐用煙火講習会 11/29）

今年度も美麻地区で重要な課題となっている有害鳥獣対策として、ぽかぽかランド美遊を会場に追い払い用煙火の新規資格取得者と、昨年度に資格を取得した方の継続で29人の方が資格を取得しました。

追い払い用の花火は、市販のロケット花火等よりも大きな音が出ますが、爆発の威力も大きいため、安全に取り扱うための講習が必要とされています。松本市の華松煙火店の上條社長を講師に招き使用方法や安全対策について改めて確認し、実際に煙火を使用しての実技も行いました。（事業部会）



タスカル美麻 美麻移動支援車両が納車



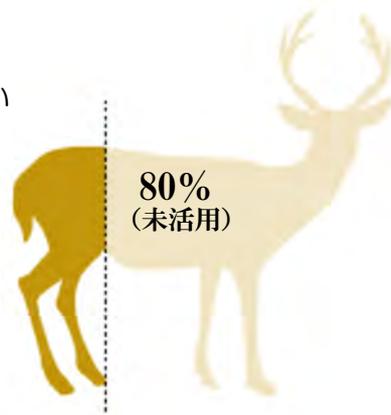
タスカル美麻（買い物支援）事業用に国の補助事業で新車を購入することができました。

現在、令和5年度からの本格運行に向けニーズ調査を兼ねた運行をしております。より良いサービスが提供できるよう、多くの方からご意見をいただきたいと考えていますので、ぜひ利用ください。

【お問合せ先は、美麻地域づくり会議事務局
電話29-2311】



Q 有害鳥獣として駆除された鹿、
いただいた命は、どのくらい
活用されているのでしょうか？



A シビエ肉として食肉加工され
ているのは20%程度です。
残りの80%（肉、骨、皮等）
は廃棄物として処理されていま

美麻地域づくり会議では、未活用の80%を地域資源として活用する事業に着手しています。

鹿皮の「なめし体験」ワークショップを開催 (11/29)



有害鳥獣対策で駆除をされた鹿皮の活用を検討するため、普段は解体後、廃棄物として処分されている皮の活用方法を検討するため、11月29日に「なめし皮」体験を開催しました。

大町山岳博物館の学芸員である藤田さんを講師に招き、剥製を作る過程で行なう脂肪部分を取りのぞく作業を体験していただきました。当日は、地区外、県外からも予想を超えた参加申し込みがあり、関心を持っている方が多いことも分かりました。およそ、2時間の作業で、4枚の皮を処理しました。参加された方々は、実際に行なってみて、いかに大変な作業かを実感されたようです。

【参加者の感想】

・初めて体験しました。繊維の向きにより綺麗に剥けました、見極めが難しいです。今回は大勢でやっているのが楽しくできました。
(平地区30代女性)

・猟師をしていて解体は経験していましたが、いつも捨ててしまう皮がもったいないと感じていました。実際になめしの体験ができてすごくうれしいです。今後、皮を剥ぐときにはもっと丁寧にやろうと思いました。(白馬村 40代男性)

今後は、なめした皮を使って製品づくりの体験会も開く予定です。

(一社)地域づくり美麻・美麻地域づくり会議

革細工ワークショップを開催します

革の活用を具体的に考えるために、視察でお世話になった千曲市のグルーバーレザーさんを講師に迎えて、鹿革を使った革細工のワークショップを開催します。

日時 令和5年1月29日(日) 午前10時から

会場 ほかほかランド美遊

(ニクの日イベントに合わせて開催)

内容 鹿革を使った小銭入れ作り

(対象年齢；中学生以上)

& 革のキーホルダーづくり(子供向け)

参加費 小銭入れ等 5,000円

(体験量、材料費、シカ肉カレー付き)

キーホルダー(子ども向け)

(材料代 500円、カレーなし)

定員 10名(申し込み順)

お問合せ・申込み

美麻地域づくり会議 事務局 ☎29-2311

コミュニティ・スケールの話題

修学旅行に行ってきました！！～9学年～



3年ぶりに二泊三日（11月1～3日）で、広島、京都に修学旅行に行くことができました。一日目の安芸の宮島では朱色の大鳥居や厳島神社、瀬戸内海を見渡す絶景を堪能し、夜はお好み焼きの夕食でお腹一杯になりました。二日目の平和記

念公園ではガイドさんから、原爆資料館で実際に起こったことを見聞きする中で、原爆に遭った同年代の子どもたちに心を寄せる姿がありました。午後は京都へ移動し、北野天満宮で参拝、金閣寺や龍安寺石庭の見学、和菓子作り体験と盛りだくさんでしたが、どれも楽しかったです。三日目は、京都市内を班ごとに公共交通機関を使って見学し、計画通りにいかないところもありましたが、自分たちの力で判断し行動する良い機会となりました。終始素晴らしい天候に恵まれ、子どもたちにとっては全てが良い刺激、体験となりました。今後の生き方に、良い一助となつてほしいと思います。（文責 担任 森川 寛）



地域の話題

美麻地区文化祭開催

美麻公民館で10月23日、令和4年度美麻地区文化祭が開かれました。新型コロナウイルス感染症のあおりを受け、一昨年、昨年と同様に、開催期日を短縮し内容も縮小しての開催となりました。オープニングには、源流美麻太鼓の会が登場。セレモニーを演奏で飾るとともに、日頃の練習の成果を披露。見学者による太鼓の試し打ちもあり、親子連れ等が体験しました。

一般公開では、美麻小中学校やみあさ保育園の子どもたち、ティサービスセンターみあさの利用者等の作品展示があり、訪れた人たちは日頃の授業や創作活動で作られた力作を

熱心に見入っていました。

実行委員長の細井忠公民館長は「コロナ禍で縮小開催を余儀なくされたけれど、来年はフルで開催できれば」と希望を話しました。（美麻公民館）



つながれ地域のお店 ⑬ - 信州ログアーツ -



広島の実業家ですが、山遊びが趣味で1999年にこの北アルプスを望む静かな地の美麻に移住して、2001年から新行グ

ラウンド近くで「木の家づくり」の店を営んでいます。

現在は単独で一般住宅木造建築を行っています。

できるだけ長野県産の木材を使用して建てたいと思っていますが最近では材料の調達にはかなり苦労をしています。特に得意としているのは丸太を使用した住宅建築で他の工務店との差別化を考えています。丸太の住宅は個性的な住宅です、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

信州ログアーツ 代表 巻田敏幸
美麻新行8765-1 TEL 0261-21-4550
ホームページ：https://logarts.jp

みあさ保育園の話題

おまつりごっこ



9月5日、おまつりごっこをしました。はちまきにはっぴではりきっていました。ぬりえのお面、手づくりの魚すくい、かき氷、的当ての的も、全部、自分たちで作りました。的当ては、なかなか当たらず苦戦していましたが、よく狙って勢いよく投げると見事命中！「やったー、倒れたよ！」とニコニコで喜んでいました。

魚すくいで、スーパーボールやお

もちゃもあって、楽しそうにすくっていました。

「わっしょい！わっしょい！」とおみこしをかつぐことにも挑戦しましたが、「重い…」と言いながらでしたが、三人で力を合わせ、保育園中を練り歩きました。そして、最後はみんなで輪になりうちわを持ってノリノリで音頭を踊りました。「まだやりたいなあ！」「楽しかった！！」と笑顔あふれる一日でした。

(保育士 竹村僚太)

やきいも、最高～！

10月3日、おいもほりをしました。今年も青具の宮沢雄一さんが大切に育てて下さいました。おいもは土にしっかりと埋まっていたなかなか出てこないし、スコップでやると傷がついてしまうし、引っ張ると折れてしまうので大変でした。少しずつ掘って掘って、やっと出てくると大喜びでした。3人で19本のおいもを掘ること1時間、今年も大きなおいもがたくさん採れました。さつまいものつるでなわとびや輪投げもして楽しみました。

10月26日待ちに待ったやきいもです。朝早くから公民館と支所の方が木を燃やし、おきをつくってくれました。火はとても熱くて近づけないので、遠くから投げ入れられました。立派なおきのおかげであっという間に出来あがり芝に座って味見もしました。甘くて本当においしかったです。日ごろお世話になっている地域の方にもお届けしてとても喜んでもらえ、うれしかったです。地域の皆さん、いつもありがとうございます。

(園長 北村 幸)



～楽しかった祖父母と一緒にミニ運動会～

10月4日、2年ぶりにミニ運動会をすることができました。祖父母の方にも、普段の様子も参観してもらいました。運動会は、あっという間の1時間でお家の方も楽しく体を動かせたと思います。(園長 北村 幸)



【祖父母の方から感想】

・始めの体操で息を切らし、玉入れは玉が入らず、体力のなさを実感です。グラウンドを走る子どもたちに声援を送り、子どもたちの成長を強く感じました。ほのほのとした温かさを感じる運動会でした。(新行 和田通子さん)

・3人とは思えないほどの気迫に満ちた声に圧倒されました。サーキットや玉入れなど、一人一人の成長を間近で見ることができ、子どもたちの真剣な表情に深く心を打たれました。

(新行 重田礼子さん)

・少人数ならではの楽しさって良いですね。年長さんの応援で一生懸命走っている姿は家では見られないものです。すごく成長しているんだなーと感動しっぱなしでした。(大塩 奥島香代子さん)

新会員紹介

美麻地域づくり会議に参加いただいた新会員(団体)を紹介します。

一般社団法人いぬとのんびり

人と動物が繋いでくれた美麻とのご縁で、新しく参加させて頂くことになりました、平地区稲尾を拠点に「高次脳機能障害サポート&チャリティショップ」として、犬とのふれあい(セラピー犬)を中心とした啓発と支援活動を行なっています。「高次脳機能障害」は脳卒中や事故などで脳にダメージを負ったあとの後遺障害です。その当事者と家族である私たちは、犬と過ごすことで症状やQOL※が劇的に向上し、同時に犬を飼う大変さも実感しました。そこで、様々な事情で犬を飼うことが困難な、でも犬とのふれあいを必要

としている方のためにこの活動を始めました。そして、犬たちにも健康な食餌をととジビエを与えていたところ、美麻ジビエ振興会に参加することになったのが美麻とのご縁の始まりです。知れば知るほど、美麻の自然と人々に魅了され、一員として役に立ちたいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人いぬとのんびり

代表理事 川村美咲

大町市平11974-4

Tel:090-9798-7798

Mail:inutononbiri@gmail.com



※QOL:生活の質を表すQOL(クオリティ・オブ・ライフ)は、「自分らしい充実した人生を送る」という意味を持ちます。そのため、いつまでも健やかで快適な人生を送るためには、QOLの向上が大切です。

年末の交通安全運動実施中!

「信濃路は みんなの笑顔 つなぐ道」をスローガンに、12月15日(木)から12月31日(土)まで年末の交通安全運動を実施中です。年末を迎えて、夕暮れから夜間の事故や飲酒運転等

が増えることから以下の4点を重点として行っています。

- ① 夕暮れ時、夜間の歩行者事故の防止
- ② 高齢運転者の交通事故防止
- ③ 自転車の安全利用とルールの遵守
- ④ 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

連載 美麻の口碑伝説 十五

一語り継ぐ郷土の心-

大塩の堤

(今回は、大塩の話)

大塩の西という処に堤といっている池がある。ここにも椀貸(わんがし)伝説が伝わっている。大寄(おおより)があり、お膳の数が足りないとき、紙に書いて池に入れるとお椀を数だけ、出してくれる。ある時その椀を一枚返し忘れた。それきり貸してくれなくなかった。

また、この池は雨乞いにも霊験(れいけん)があった。早魁(かんぼう)の時には大町の霊松寺の僧侶を全部頼んで雨乞いをしたものだそうである。経が済んで酒を瓶に詰めて栓をし、中央の水の湧き出す釜湧(かまわき)と言われている所へ入れてやると、必ず酒はなくなっていた。また、血脉(けつみやく)を入れたら渦巻(うずまき)が起ると巻き込んでしまつたものだそうである。こうして雨乞いが済めば必ず雨が降つたという。



※血脉(けつみやく)つみやく川伝説の教えを伝授する系譜を記した文書
 ※堤川中村住宅の下、今でも湧水が湧いている。
 ※小さい頃、池に木の棒を投げてと吸い込まれる。かまっちゃんいけない、足を入れちゃいけない、けがれると言われた。(藤井重子さん)
 北村地区で、水を払って掃除をしている。すると必ず雨が降る。夏でも15度くらい。冬でも凍らない。

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info